

.Deb

銀河系唯一のDebian専門誌

2014 年 10 月 25 日

特集：Debian x LibreOffice

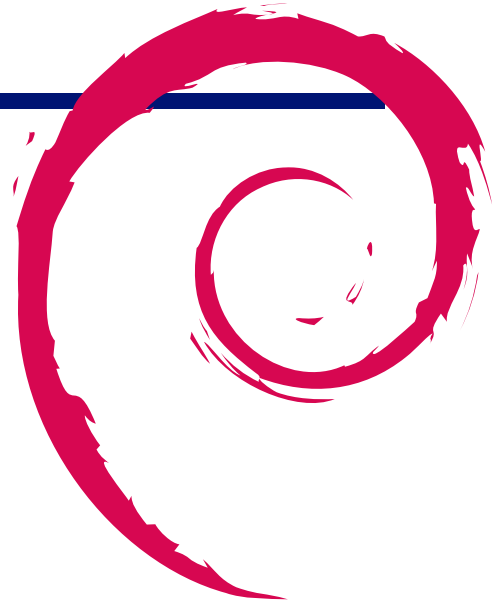


下 ビア ア シ 勉強 会

目次	
1	事前課題 2
1.1	野島 貴英 2
1.2	henrich 2
1.3	dictoss(杉本 典充) 2
1.4	吉野 (yy_y-ja-jp) 2
1.5	kenhys 2
1.6	Hasegawa 2
2	Debian Trivia Quiz 3
3	最近の Debian 関連のミーテ ィング報告 4
3.1	第 117 回東京エリア Debian 勉強会 4
3.2	第 118 回東京エリア De- bian 勉強会 in OSC 2014 Tokyo/Fall 4
4	Debian x LibreOffice 5
4.1	はじめに 5
4.2	Debian と upstream コミュニ ティの関係 5
4.3	LibreOffice のバージョン 5
4.4	使う側の Debian 固有の事情 の情報源 6
4.5	Debian での LibreOffice のパ ッケージ開発についていくつか 6
4.6	おわりに 7
5	会場での無線 LAN のつなぎ方 9
5.1	はじめに 9
5.2	wpa_supplicant 及 び /etc/network/interfaces を 利用の場合 9
5.3	その他の無線 LAN 用パッ ッケージを利用の場合 9

1 事前課題

野島 貴英



今回の事前課題は以下です:

1. 本日、何の作業をやるかを宣言ください。

この課題に対して提出いただいた内容は以下です。

1.1 野島 貴英

もちろん! Jessie インストーラテスト会に参加します。よろしくお願ひします。

1.2 henrich

フリーズ前の課題洗い出しとか…。

1.3 dictoss(杉本 典充)

Jessie インストーラテスト会に参加します。

1.4 吉野 (yy-y-ja-jp)

DDTSS

1.5 kenhys

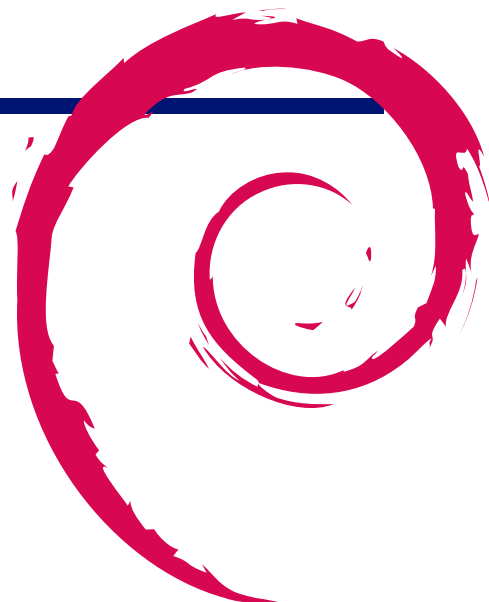
groonga-normalizer-mysql の ITP 関連

1.6 Hasegawa

Jessie インストーラテスト会に参加します。よろしくお願ひします。

2 Debian Trivia Quiz

野島 貴英



Debian の昨今の話題についての Quiz です。

今回の出題範囲は `debian-devel-announce@lists.debian.org` や `debian-news@lists.debian.org` に投稿された内容などからです。

問題 1. 2014/9/14 時点で Jessie でサポートされると残念ながら「言われなかった」アーキテクチャはどれ

- A amd64
- B powerpc
- C sparc

問題 2. 2014/11/1 時点で Jessie でサポートされるかどうかについて依然として懸念のあるものはどれ

- A hurd
- B kFreeBSD
- C s390x

問題 3. 2014/9/4 に testing 入りしたデスクトップ環境は以下のどれ

- A xfce
- B cinnamon
- C unity

問題 4. 2014/10/18 にリリースされた wheezy の Debian のバージョンはいくら?

- A 7.7
- B 7.8
- C 7.9

問題 5. OPW の呼びかけが debian-devel-announce で 2014/9/30 に行われました。ところで OPW って何の略?

- A One-time PassWord
- B One-Piece-Woven technology
- C Outreach-Program-for-Women

問題 6. 2014/10/14 にサービスを近いうちに閉じるよとアナウンスのあったサイトはどれでしょう?

- A githubredir.debian.net
- B tracker.debian.org
- C rtc.debian.org

問題 7. 2014/10/5 にリリースされた Debian Installer Jessie Beta2 の変更点はどれ

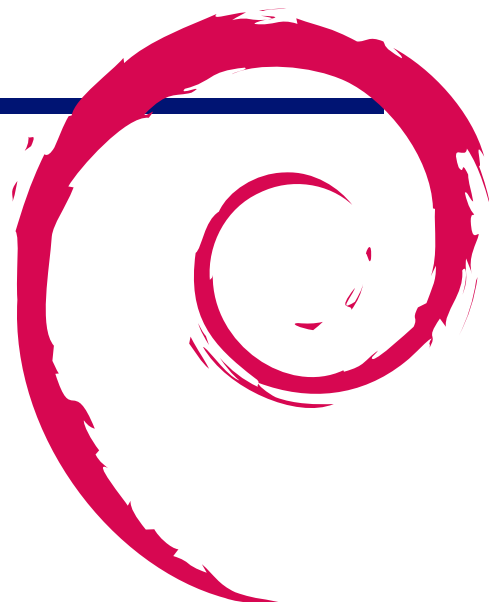
- A syslinux まわりで過去の互換の無い大きな変更点が出た。
- B デフォルトの init が systemd となった。
- C GNOME デスクトップ環境がデフォルトになった。

問題 8. 2014/10/16 に投票が開始されました。内容は次のうちどれ?

- A 特定の init とプログラムが依存しても良いか? ダメか? 程度次第か?
- B GNOME をデフォルトにしてよいのか?
- C 野島が勉強会幹事をやり続けて良いのか?

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

野島 貴英



3.1 第 117 回東京エリア Debian 勉強会

- 場所はスクウェア・エニックスさんのセミナールームをお借りしての開催でした。6名の参加がありました。
 - 野島さんにて DebConf14 のビデオのトピックについて、
 - やまねさんにより、DebConf14 の様子について口頭にて、発表が行われました。
- 残りの時間はもくもく会を行い、最後に成果発表をしました。
- 今回は宴会の参加者が居なかったため、代わりに3名で夕食会となりました。

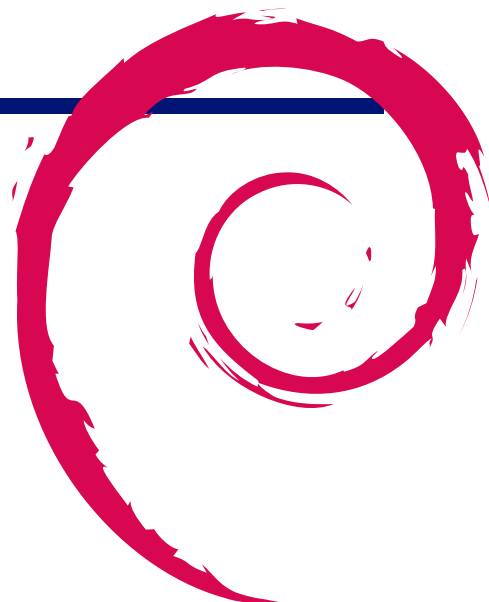
DebConf14 では日本側からの発表が2本あったのは大変すばらしいと思います。また、DebConf14 の zack さんの発表「Debian in the Dark Ages of Free Software」は、Debian 開発関係者には非常に困った事態だと思います。こちらについては今後も真剣に考えていきたいと思っています。

3.2 第 118 回東京エリア Debian 勉強会 in OSC 2014 Tokyo/Fall

OSC 2014 tokyo/fall へ東京エリア Debian 勉強会として出張しました。

- 10/18 (土) にて岩松さんにより 세미나開催、Debian についてのブース出しを行いました。また、Debian Official Developer の PaulLiu さんが遥々台湾から参加されました。
- 10/19 (日) は元々計画していませんでしたが、koedoyoshida さんの厚意により、ブースを出していただきました。

10/18(土) の OSC 2014 tokyo/fall の参加者が、900 名を超えたそうです。こういったイベントで盛り上げることにより、FOSS 関係者やコミュニティが益々増えると良いですね。



4 Debian x LibreOffice

野島 貴英

4.1 はじめに

今回の東京エリア Debian 勉強会は、関東 LibreOffice さんとコラボで開くという初の試みを行います。ここでは、Debian から見た LibreOffice に関して、Debian の開発に関わる点についていくつか述べてみたいと思います。

4.2 Debian と upstream コミュニティの関係

Debian は、Linux OS のディストリビューションでも、世界一コミュニティ主導で開発が行われるコミュニティです。ここで、Debian Project の文化として、Upstream First という考え方があり、Debian で、特定のソフトウェアで生じた問題などは、最初に upstream ヘフィードバックすることが求められます。当然ですが、upstream の意向も汲む必要がありますし、upstream とは良好な関係を築き、建設的な情報交換を行う事が、Debian Project の方針として定まっています。

4.3 LibreOffice のバージョン

2014/10/25 現在のリポジトリを確認すると、LibreOffice のパッケージは以下のバージョンとなっています。

Debian	Debian アーキテクチャ	LibreOffice バージョン	備考
squeeze-backports	amd64 armel i386 kfreebsd-i386 mips mipsel powerpc s390 sparc	3.5.4	
	ia64 kfreebsd-amd64	3.3.3	
wheezy(stable)	amd64 armel armhf i386 ia64 kfreebsd-amd64 kfreebsd-i386 mips mipsel powerpc s390 s390x sparc	3.5.4	
wheezy-backports	amd64 armel armhf i386 ia64 mipsel powerpc s390 s390x	4.3.2	
	sparc	4.2.6	
	mips	4.2.5	
	kfreebsd-(amd64—i386)	4.0.3	

表 1 Debian のバージョンと LibreOffice のバージョン (2014/10/25)

Debian	Debian アーキテクチャ	LibreOffice バージョン	備考
squeeze-backports	amd64 armel i386 kfreebsd-i386 mips mipsel powerpc s390 sparc	3.5.4	
	ia64 kfreebsd-amd64	3.3.3	
wheezy(stable)	amd64 armel armhf i386 ia64 kfreebsd-amd64 kfreebsd-i386 mips mipsel powerpc s390 s390x sparc	3.5.4	
wheezy-backports	amd64 armel armhf i386 ia64 mipsel powerpc s390 s390x	4.3.2	
	sparc	4.2.6	
	mips	4.2.5	
	kfreebsd-(amd64 i386)	4.0.3	
jessie(testing)	amd64 arm64 armel armhf i386 kfreebsd-amd64 kfreebsd-i386 mips mipsel powerpc ppc64el s390x	4.3.2	
sid(unstable)	amd64 armel armhf i386 kfreebsd-amd64 kfreebsd-i386 mipsel powerpc ppc64el s390x sparc	4.3.3~rc2	
	arm64 mips alpha ppc64	4.3.2	
	hppa	4.1.6~rc2	
	powerpcspe	4.1.4	
experimental	amd64 armhf i386 ppc64el	4.4.0~alpha1	

表 2 Debian のバージョンと LibreOffice のバージョン (2014/10/25)

4.4 使う側の Debian 固有の事情の情報源

Debian で LibreOffice を使う場合、Debian 固有で生じる事も知っておいた方が良いです。こちらの情報源についていくつか紹介しておきます。

種別	場所	備考
ファイル	/usr/share/doc/libreoffice/ README.Debian	
wiki	https://wiki.debian.org/LibreOffice	
bug レポート	https://bugs.debian.org/libreoffice	

表 3 Debian 固有の LibreOffice 情報

4.5 Debian での LibreOffice のパッケージ開発についていくつか

東京エリア Debian 勉強会は開発者の集まりですので、ここではパッケージ開発固有の事情に関していくつか紹介します。

4.5.1 メンテナ

Debian での LibreOffice のパッケージ開発は、Debian LibreOffice Maintainers (debian-openofficelists.debian.org) というコミュニティが用意されています。ただ、実際に ML を見るとわかるのですが、Debian については、ほぼ Rene Engelhard さんにより精力的にメンテナンスが行われている状態です。

4.5.2 パッケージのソースコード

Debian のパッケージの開発の git リポジトリは、<http://anonscm.debian.org/cgit/pkg-openoffice/libreoffice.git> で管理されています。見ると判りますが、各ブランチが切られており、ubuntu 用なども見えます。

また、`apt-get source libreoffice` すると、`debian/README.debian-source` が入っています。こちらを読むと判りますが、

- バージョンアップしたパッケージをどう作るかについて、工数が少なくなるような、一定のやり方を定めています。`debian/rules` ファイルも、非常にうまく作られていて、このやり方で多くの事が出来るようになっていきます。
- LibreOffice 自体巨大なソースですので、必然的に `debian/control` ファイルも巨大化します。こちらをメンテしやすくするため、パッケージの種別毎に `control` ファイルが多数分割されており、`debian/rules` で `control` ファイルを生成できるようになっています。
- `debian/*.in` ファイルを使って、パッケージ内部に梱包する様々な設定ファイルを各 Debian の環境に合わせて修正・合成しています。
- `dpkg-dev` で梱包されている `/usr/share/dpkg/*.mk` ファイルに基づき、`configure` に必要なオプションが作られていきます。
- DFSG Free にこだわる必要があるため、`openoffice` 由来のソースから、DFSG Free でないものを抹消しています。

4.5.3 Debian 固有のパッチの紹介

Debian 固有の事情に合わせてパッチが `debian/patch` 以下に収められています。Debian だけにとどまらない内容のパッチも若干含まれていますが、いずれ（あるいはすでに）`upstream` へフィードバックされる予定のはずです。

いくつもパッチがありますが、表 4 に Debian 固有で面白いものを抜き出して列挙してみます（用語を表 5 に載せます。）

4.6 おわりに

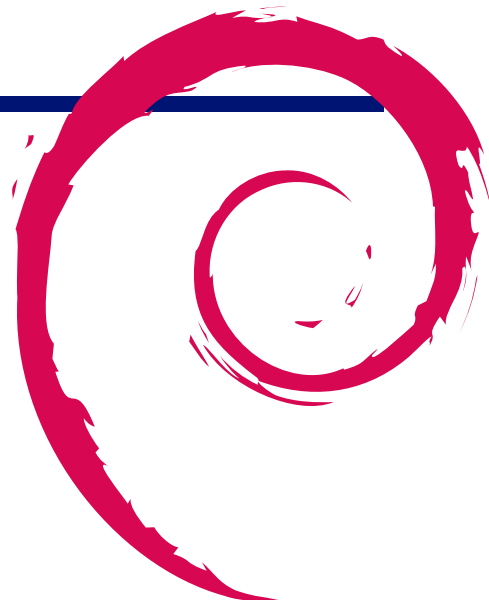
ここでは、LibreOffice が Debian ではどうパッケージ化されているかについて説明してみました。Debian では、`arm64` アーキテクチャ対応が目玉となっていますが、LibreOffice の Debian パッチとして独自で搭載していたりします。こういった Debian 側からの改造が `upstream` に取り込まれ、`upstream` も対応アーキテクチャが増えていくのは良いことだと思います。同じ FOSS の仲間である Debian と LibreOffice が相互に発展していく感じがソースからも読み取れて感慨深いです。

パッチ名	内容	備考
aarch64.diff	arm64 用のパッチ。uno を取るための arm64 用のコードが追加されている。	
aotcompile-256M-default.diff	MAX_CLASSES_PER_JAR = 256, MAX_BYTES_PER_JAR = 262144 をビルドマシンの搭載メモリサイズによらず固定にするパッチ。	
config-sub-guess-update.diff	システムが glibc/ulibc/dietlibc であるかを検出して適切な LIBC 変数を設定する。さらに、古いシステム (Next, hp300, 386BSD 等...) の判定コードを削除。	注: debian に関わるもののみ説明
debian-hardened-buildflags-CPPFLAGS.diff	Jessie リリースゴールの1つである hardening を搭載する。	
sensible-lomua.diff	Debian の持つ各種デスクトップ環境に合わせるためのパッチ。MUA を適切に設定。	
split-evoab.diff	gnome の MUA である evolution のアドレス帳連携のドライバで EVOAB2 を有効にするパッチ。	
earch-usr-share-for-images.diff	画像のサーチパスの検索順番を debian にあわせるべく変更 (プログラムの改造含む)。	
help-msg-add-package-info.diff	ヘルプファイルがインストールされていない場合に出るエラーメッセージに、libreoffice-help-en-us パッケージ、libreoffice-help-jlanguage-code_パッケージを導入して欲しい旨表示するようにするパッチ	
debian-debug.diff	-g1 を gcc のデバッグオプションとして利用し、デバッグシンボルファイルのサイズを減らす。	
gcj-safe-jni-h-include.diff	gcj で、jni.h がシステムにあわせて include されるように変更。	
mention-java-common-package.diff	Java に関する問題があった場合、libreoffice-java-common パッケージを入れるように促すメッセージを追加。	
jurt-soffice-location.diff	soffice を指定された場合に、debian でのインストール位置を正確に返却	
reportdesign-mention-package.diff	Oracle Report Builder の機能が必要な場合、libreoffice-report-builder を入れてくれと促す。	
system-coinmp.diff	coinmp に対応する。	

表 4 Debian 固有のパッチの中身

用語	説明
uno	Universal Network Object. CORBA とか COM(DCOM) 等のオブジェクト指向の通信により、LibreOffice の API 呼び出しを実現する仕組み。 https://wiki.openoffice.org/wiki/Documentation/DevGuide/ProUNO/Introduction
hardening	コンパイラにセキュリティ強化の施策を打たせる事。 https://wiki.debian.org/Hardening
coinmp	COmputational Infrastructure for Operations Research(CON-OR) のライブラリ。OR 用途。 https://projects.coin-or.org/

表 5 用語



5 会場での無線 LAN のつなぎ方

野島 貴英,Roger

5.1 はじめに

今回試験として、会場側でフィルタ無しのグローバル回線を用意しました。ただ、会場側のセキュリティポリシーにより、wpa-psk AES hidden SSID という方式での提供となります。

以下に Debian マシンでの接続方法を記載します。

また、自分の環境では違うやり方でつながったという方は、野島まで教えて下さい。こちらでもノウハウとして溜めていく予定です。

5.2 wpa_supplicant 及び/etc/network/interfaces を利用の場合

もっとも良いマニュアルは、`/usr/share/doc/wpa_supplicant/README.Debian.gz` となります。困った場合はこちらも合わせてご参照下さい。

以下に/etc/network/interfaces の定義について会場の例を記載します。

```
$ sudo vi /etc/network/interfaces
----以下のエントリがなければ追記ここから-----
iface wlan0_debian inet dhcp
    wpa-conf /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
----以下のエントリがなければ追記ここまで-----
$ sudo vi /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
----以下のエントリを追記ここから-----
network={
    ssid=<<会場の SSID>>
    psk=<<会場のパスワード>>
    scan_ssid=1
}
----以下のエントリを追記ここまで-----
$ sudo chmod 600 /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
$ sudo ifup wlan0=wlan0_debian
```

また、ハマってしまった時のデバッグ方法は、`/usr/share/doc/wpa_supplicant/README.Debian.gz` 中の”4. Troubleshooting” の章が便利です。

5.3 その他の無線 LAN 用パッケージを利用の場合

すみません、自分が情報を持たないため、現場で教えて下さい。



Debian 勉強会資料

2014年10月25日 初版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
